

西部地区人権教育実践報告会

令和4年7月29日（金）

会場：坂戸市文化会館・坂戸市立坂戸小学校

1 全体会の概要

- (1) 開会の言葉 副実行委員長
(2) 挨拶 西部教育事務所長
実行委員長
(3) 来賓挨拶 坂戸市長
(4) 人権作文の発表・表彰



- ・「みんな同じ人間」 坂戸市立南小学校 第2学年
- ・「男はかみがみじかくないといけないの？」 所沢市立林小学校 第3学年
- ・「ぼくのおじいちゃん」 吉見町立南小学校 第5学年
- ・「差別や偏見のない未来」 川越市立霞ヶ関東中学校 第1学年
- ・「コロナが教えてくれたこと」 入間市立野田中学校 第2学年
- ・「当たり前の世界へ」 県立飯能高等学校 第3学年

- (5) 情報提供 人権教育課指導主事
(6) 閉会の言葉 副実行委員長

2 分科会の概要

| 分科会名 | 実践報告 |
|------------|---|
| 女性・外国人 | ○専門教育から多様性に対する意識醸成のアプローチ ○「自分らしさ」を考えよう ○外国人の人権の視点に立った教育の推進について |
| 子供 | ○生命を大切にする心を育むために ～ひとや動植物とのかかわり・幼稚園と家庭との連携から～ ○人権感覚を高め、あったかな心で相手を思いやり、お互いを尊重し合う 児童の育成 |
| 同和問題 | ○ときがわ町における人権教育の取組について ○同和問題における人権教育について |
| 高齢者・障害のある人 | ○「楽しめる健康高齢社会を」 ○障害のある人の人権問題 |
| 様々な人権問題 | ○所沢市の様々な人権問題への取り組み ○個々の多様性を認め合い、互いに尊重し合える生徒の育成 |

3 参加者の意見など

- (1) 子供たちの人権作文は、大変感動した。子供たちに心を動かされたので、県全体にこの作文が広まってほしいと感じた。
(2) すぐにでも自校で活かせるものが多く、とても勉強になった。
(3) 人権に関する課題を様々な角度から考えるきっかけになった。今後の指導の在り方を見つめ直すよい機会となった。